

# CIインサイトレポート － LN －

【 目次見本 】

# § レポート全体概要

調査対象疾患	L N（ループス腎炎）＜一部SLE含む＞	
調査ポイント・ topics	患者動向 *	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ LN患者の受診状況、Class別分布について分析</li> <li>➤ 近年の国内のLN発症状況について分析・検証</li> </ul> <p>⇒ 国内のLN患者実態を徹底分析！</p>
	既存薬/ 既存治療 *	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 既存薬の処方状況・薬剤評価をClass別に分析・検証</li> <li>➤ 現状の治療成績（疾患活動性の低下/寛解導入）を検証</li> </ul> <p>⇒ 既存治療のアンメットニーズを徹底検証！</p>
	Bio *	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ベンリスタ、サフネロー・・・薬剤別処方状況・薬剤評価を分析・検証</li> <li>➤ リツキシマブ・・・・・・・保険適用後の処方変化動向を検証</li> </ul> <p>⇒ 今後の薬剤別/Bio全体処方動向について徹底予測！</p>
	新規薬剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 注目薬剤ボクロスポリンのポテンシャル・処方動向を検証・予測</li> <li>➤ コセンティクス、ガザイバのポテンシャルを検証</li> </ul> <p>⇒ 今後の治療パラダイムシフトを徹底予測！ （新規薬剤参入による薬剤選択動向の変化は？）</p>
	臨床開発の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 開発成功に向けた重視ポイント、モデルケースについて検証</li> </ul> <p>⇒ 今後の臨床開発の方向性を徹底予測！ （LN or SLE 臨床開発の成功率が高いのは？）</p>
	* LN/SLE別に分析・検証・予測	

■ 調査対象薬剤

既存薬	ステロイド		経口・注射
	免疫抑制薬		エンドキサン（シクロフォスファミド） 経口・注射 アザチオプリン、ミゾリビン タクロリムス セルセプト（ミコフェノール酸モフェシル）
	免疫調節薬（抗マalaria薬）		プラケニル（ヒドロキシクロロキン）
	Bio	抗BLyS抗体	ベンリスタ（ベリムマブ）
		抗I型IFN抗体	サフネロー（アノフルマブ）
		抗CD20抗体	リツキシマブ
新規薬剤 （開発薬）	カルシニューリン阻害薬		ボクロスポリン
	抗IL-17抗体		セクキヌマブ（コセンティクス）
	抗CD20抗体		オビヌツズマブ（カザイバ）
	SLE	JAK1/ TYK2阻害薬 BAFF-R阻害薬	brepocitinib ianalumab

# § レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	—	LN/SLE患者を診療している医師 計 201名 ＜内 Bio User 116名＞	LN/SLE TOP KOL 3名 【関連学会 役員】
調査対象診療科 ＜施設種類＞	—	リウマチ・膠原病内科、腎臓内科 一般・総合内科 ＜HP/GP＞	リウマチ・膠原病内科 ＜HP＞
調査内容	<p>＜既存薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p>＜開発薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<p>＜診療・患者動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 患者動向*</li> <li>● Class別患者動向</li> </ul> <p>＜既存薬・既存治療＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬剤別処方状況*</li> <li>● 治療成績*</li> <li>● 既存治療のアンメットニーズ*</li> </ul> <p>＜Bio＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬剤別処方状況*</li> <li>● LNに対する臨床試験の必要性</li> <li>● 薬剤別/Bio全体処方動向予測*</li> </ul> <p>＜新規薬剤ボクロスポリン＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上市後処方意向*</li> <li>● 既存薬への影響度*</li> </ul> <p>＜新規薬剤（開発薬）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬剤別認知状況</li> <li>● 薬剤別処方意向・期待度</li> </ul> <p>等</p> <p>* <u>LN/SLE別で分析・検証・予測</u></p>	<p>＜患者動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● LN患者動向/Class別患者動向</li> </ul> <p>＜薬剤処方状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 治療段階/Class別薬剤処方状況*</li> </ul> <p>＜Bio＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬剤別処方状況/処方動向予測*</li> <li>● リツキシマブ保険適用後の処方動向予測*</li> </ul> <p>＜治療成績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 疾患活動性低下/寛解導入/再燃状況</li> <li>● 既存治療のアンメットニーズ*</li> </ul> <p>＜新規薬剤ボクロスポリン＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポテンシャル分析/上市後処方動向予測*</li> </ul> <p>＜新規薬剤（開発薬）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬剤別ポテンシャル分析</li> </ul> <p>＜臨床開発の方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後の臨床開発の方向性*</li> </ul> <p>等</p> <p>* <u>国内全体の実態/将来動向についての 検証/予測を含む</u></p>
調査実施時期	2023年 2月 ～ 3月		
体裁／頁数	Part I・・・P P T（or E X C E L）、Part II & III・・・P P T / A 4 計約350ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット＜3パート＞ ロウデータ ロウデータ + ターゲットマッチング	1 9 0 万円（税別） 5 0 万円（税別） 6 0 万円（税別） * <b>Part別販売 可</b>

# < Part I データ分析編 目次 >

調査概要	3	IV. 学会情報	56
I. 既存品	4	IV-1. 日本リウマチ学会	57
I -1. プロファイル	5	IV-2. 日本臨床リウマチ学会	60
I -2. 作用機序・特性	14	IV-3. 日本小児リウマチ学会	61
I -3. 薬価	23	IV-4. 日本臨床免疫学会	63
I -4. 販売高推移	29	IV-5. 日本腎臓学会	65
I -5. 臨床試験 (UMIN)	30	IV-6. 日本皮膚科学会	66
I -6. 臨床試験 (JAPIC)	31	V. 関連文献	67
II. 開発品	32	V -1-1. 既存品・製品別	68
II -1. プロファイル	33	V -1-2. 既存品・複数	74
II -2. 作用機序・特性	38	V -2. 開発品	78
II -3. 臨床試験 (JAPIC)	43	V -3. 既存品+開発品	87
III. 関連企業動向	44		

## < Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	16
1) SLE/LN診療状況 *	17
2) 薬物療法実施状況 *	22
3) Bio処方動向・薬剤評価 <Bio-User> *	34
4) Bio認知状況・非処方理由・今後の処方意向 <Bio Non-User> *	49
5) 治療成績 *	53
6) ボクロスポリン認知状況・処方動向 *	58
7) 開発薬認知状況・処方意向・期待内容	64
8) 既存治療のアンメットニーズ *	69

\* LN/SLE(LN 合併無)別に掲載

# < Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3		
回答者プロフィール	4		
§ 調査結果	5		
1) SLE/LN診療状況	6	4) Bio認知状況・非処方理由・今後の処方意 <Bio Non-User>	48
1-1.SLE診療患者数・新規患者数(直近3ヶ月間)	7	4-1.薬剤別認知状況	49
1-2.SLE重症度別患者割合	8	4-2.薬剤別非処方理由	51
1-3.LN併発状況	9	4-3.薬剤別今後の処方意向 *	53
1-4.LN Class別患者割合	11	5) 治療成績	55
2) 薬物療法実施状況	13	5-1.ステロイド減量目標・達成状況 *	56
2-1.LN治療目標	14	5-2.疾患活動性低下/寛解導入状況 *	60
2-2.治療薬処方状況 *	17	6) ボクロスポリン認知状況・処方動向	64
3) Bio処方動向・薬剤評価<Bio-User>	30	6-1.薬剤認知状況	65
3-1.薬剤別処方状況	31	6-2.上市後処方意向 *	66
3-2.薬剤別治療段階別処方状況 *	33	6-3.治療薬として期待する内容 *	68
3-3.薬剤別治療満足度が高い内容 *	36	6-4.ボクロスポリン参入による既存薬への影響度	70
3-4.薬剤別今後の処方動向 *	40	7) 開発薬認知状況・処方意向・期待内容	72
3-5.LNに対する臨床試験データの必要性	43	7-1.薬剤別認知状況	73
3-6.今後のBio全体処方動向 *	45	7-2.薬剤別処方意向・期待度	75
		8) 既存治療のアンメットニーズ *	82

\* LN/SLE(LN 合併無)別に掲載

# < Part Ⅲ KOLヒアリング編 目次 >

調査概要	3
Summary	6
1. 患者動向	18
2. 薬剤処方状況	20
3. Bio処方動向・製品評価	24
4. 治療成績	29
5. 既存治療のアンメットニーズ	31
6. LN 新規薬剤（開発薬）の評価	34
7. SLE 新規薬剤（開発薬）の評価	39
8. 臨床開発の方向性	41